

★ピニャータ★

人気上昇中のピニャータに当社若手スタッフで初挑戦しました♪



《ピニャータについて》

ピニャータは、「高所から吊るしたくす玉を棒で叩いて割る遊び」
またはくす玉そのもののことを指します。

語源はイタリア語のピッナーター（PIGNATTA：土鍋）と言われており、
昔、復活祭の40日前に農作業使用人に感謝の気持ちを込めて主人が
土鍋に果物などを詰めてプレゼントしたことが起源と言われています。

今ではピニャータの中には小さなお菓子やおもちゃなどを入れるのが一般的で、
クリスマスや誕生日パーティーといったお祝い事や祭りに欠かせないイベント
として知られるようになりました。

ピニャータを子供たちが割った後は、お菓子やおもちゃはみんなのお土産として
持って帰れることもあって、パーティーのクライマックスに最適です！

《ピニャータの遊び方》

- 1) ピニャータゲームに参加する子ども達の頭の上くらいに、ピニャータを吊るします。
木や物干し竿のようなものに吊ることが多いですが、大人が棒の先端に吊るして、
ピニャータを上下に揺ると、よりゲーム性が高まります。
- 2) 目隠しをした子供たちが順番でピニャータを叩きます。
周りの人たちは上手にピニャータに誘導してください。
★ 小さい子供の場合は目隠しを使用しなくてもいいかもしれません。

引っ張るタイプのピニャータ（プルピニャータ）の場合は、順番に1本ずつリボンをひきます。
1本だけあたりのリボンがあり、それを引っ張ると外側が破れて中身がこぼれ落ちてきます。
1個のピニャータで遊ぶのに最適な人数は8人程度です。

①お菓子を詰める



広げる



「PRESS
HERE」
のマーク
から入れる

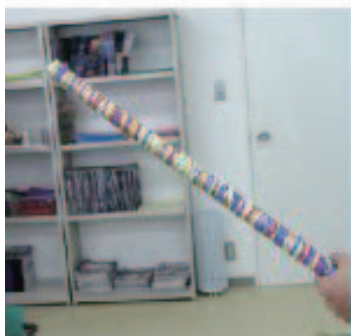
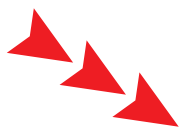


「PRESS HERE」のマーク

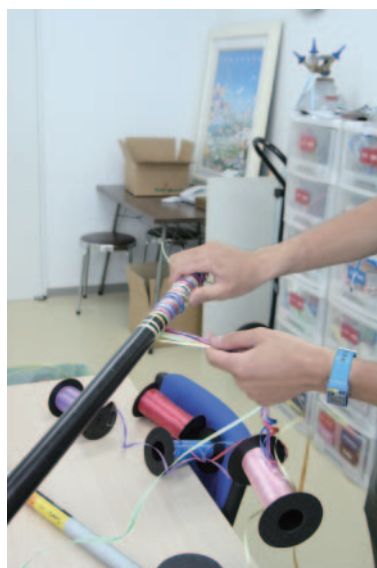


早速お菓子を詰めていきましょう！今回使用したのはこの2つ。2つとも「PRESS HERE」のところから詰めます。あめ、チョコレートなど小さなお菓子が入れやすいです♪
体積の8割くらいはお菓子を入れるスペースですので、予想以上にたくさん入りました。

②バスターを準備する



完成！



たたき割ることに使用する棒「バスター」を作ります。
市販されているものもありますが、今回は硬い棒に
リボンを巻きつけ、オリジナルのバスターを作りました！

③いよいよトライ！！



たたきわりに挑戦！しかし意外なことに硬くて割れない！！二人でたたいても大きくは割れず、最後は手で開けてみました。割れるか割れないかは、たたく向きもポイントになりそうです。ヒモがついているピニャータは、ひっぱると穴があきお菓子を出せるものがあります。

このスタイルだと、たたくこともひっぱることも楽しめそうですね☆

実際に使ってみると、日本のすいか割りと餅投げが一緒になったような感覚がしました。パーティーの新アイテムとして取り入れていきたいですね♪♪

ピニャータ 商品ラインナップ

ヒモを
引く
タイプ



品名:ピニャータ バースデージャンボリー
品番:TKB66262
ロット:1個



品名:ピニャータ カップケーキパーティ
品番:TKB40101
ロット:1個

たたき
わる
タイプ



品名:ピニャータ トレジャーチェスト
品番:TKB06763
ロット:1個



品名:ピニャータ スパークルティアラ
品番:TKB66223
ロット:1個



品名:ピニャータ ピンクキャッスル
品番:TKB66266
ロット:1個